



狛江駅周辺
エリアの！

快適な歩行空間の創出に向けて協業していくことについて 狛江市と小田急 S C ディベロップメントが合意しました

狛江市（市長：松原俊雄）と株式会社小田急 S C ディベロップメント（本社：東京都新宿区、社長：細谷和一郎）は、令和 2（2020）年に締結した包括連携協定に基づき、狛江駅高架下商業施設と狛江駅周辺の市道を快適な歩行空間とするべく、この度、快適な歩行空間の創出に関する覚書を締結しました。



令和 4（2022）年度は、地域の町会・自治会や関係事業者、まちづくり団体等の皆さまとともに検討協議会（官民連携協議会）を立ち上げ、狛江駅周辺エリアで実施する社会実験を通して、快適な歩行空間を創出するための検討を地域一体で協力しながら進めていきます。

◆ 検討スケジュール

令和 4（2022）年 6 月～	歩行空間の創出に向けた官民連携協議会の開催 （年度内数回実施予定）
令和 4（2022）年秋頃	歩行空間活用に向けた社会実験の実施
令和 5（2023）年 2 月	官民連携協議会で歩行空間活用ビジョンの取りまとめ

【参考 1】 狛江市と小田急SCディベロップメントの包括連携協定について

狛江市では、多様化する市民ニーズや社会環境の変化による新たな行政需要等に柔軟に対応するため、民間企業を含めた多様な主体と連携・協働し、持続可能な狛江らしいまちを創っていくことを目指しています。また、小田急線沿線で商業施設を運営する小田急 S C ディベロップメントでは、「商業施設を含めたまち全体の魅力を最大限に引き出します。」というビジョンを掲げ、事業活動を通じ、地域に根差し、地域と一緒に発展していくことを目指しており、狛江市内では、喜多見駅・狛江駅・和泉多摩川駅に隣接する高架下商業施設（「小田急マルシェ」等）を運営しています。地域に根差した活動を行う両者が、それぞれの有する資源やノウハウを最大限活用し、地域の課題解決に向け協働するべく、令和 2（2020）年11月の締結に至ったものです。

【参考 2】 包括連携協定第 1 弾の施策について

- 実施内容：狛江市内に魅力的な飲食店・食物販店を増やすことを目的に、飲食店開業希望者が低リスクで店舗運営を経験できる「シェアキッチンスペース」を開設。
(<https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/41,84304,318,html>)
- 開 業 日：令和 2（2020）年11月24日（火）
- 場 所：小田急マルシェ和泉多摩川（小田急線と泉多摩川駅直結）
- 店 舗 名：F O R T M A R K E T 和泉多摩川 (<https://www.fortmarket.jp/>)
- 運 営 者：株式会社なかむら商会

【参考 3】 包括連携協定第 2 弾の施策について

- 実施内容：高架下商業施設「小田急マルシェ喜多見」内の「SAKE－YA KITAMI」を通して、「醸造所・レストラン・酒屋」と「サテライトオフィス」が一つになった新業態店舗をオープン。
- 開 業 日：令和 3（2021）年 4 月 8 日（木）
- 場 所：小田急マルシェ喜多見 4（小田急線喜多見駅から徒歩 4 分）
- 店 舗 名：S A K E － Y A K I T A M I (<https://www.beerkobo.com/>)
- 運 営 者：株式会社麦酒企画

以 上